

2017年

ホームページへGo!→
スマホで教室便りが見られます



教室だより 7月号

暑中見舞い

「暑中」とは、二十四節気の「小暑」（今年は7月7日～22日）と「大暑」（今年は7月23日～8月6日）を合わせた期間を指します。この「暑中」の期間に出すのが「暑中見舞い」です。

梅雨の最中はさすがに的外れなので、梅雨が明けてから出し、立秋（今年は8月7日）を過ぎたら「残暑見舞い」にして、8月末までに届くようにします。

かつて「暑中見舞い」は、暑中に親せきや世話になった方のお宅へお盆の供物や夏バテをふせぐ食べ物を持参して挨拶をするという習慣でしたが、大正時代に簡素化され、挨拶状をやりとりするようになったようです。今のように手紙やハガキで言葉を伝える場合は、「中元状」と呼ばれていました。

お盆の供物を贈る習慣は「お中元」へと変化してゆき、挨拶状を送る習慣は、親交を深めるツールとして発達していったようです。元来「暑中見舞い」は、人と人が生身で行き交い、敬い感謝する行為だったのです。

人間関係がドライになり、昨今はメールでのやりとりが多くなっていますが、「暑中見舞い」という古き良き日本の習慣を見直してみてもいいかもしれませんね。

公文式の創始者・公文 公（くもん とおる）先生の言葉より

“自習が中心”

公文式は、ただ単に学校の成績を上げるためだけの学習ではありません。公文式の学習を通じて自習する経験と方法を学ぶことによって、他人からいちいち教えられなくても、学ばべきことを自主的に学習していける力を養うことができます。つまり、公文式は十分な学力をつける学習であるとともに、「自主的に学習」していこうとする意欲と挑戦する態度を育み、自立への力を養うことを大切にしているのです。自立した人間になるためにこそ、まだ学校で習っていない内容でも、自習で進んでいけるように教材が整備されています。

すべての学びの土台となる「読み・書き・計算」の力をしっかり身につけるには、それぞれの子どもの必要十分な練習を重ねることが不可欠ですが、これらの力さえ確実にしておけば、新しい領域についても自ら挑戦し、「自主的に学習」していくことが可能になります。

2017年 7月の学習日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17 海の日	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

本市場教室日□

横割教室日△



KUMON

*ゆき子の一言コラム

～やる気を引き出す～

やる気を引き出し、持続することができればその子の持つ課題の90%は解決したも同然だと言われます。

小学校低学年までのやる気と、高学年からの向上心は大切だと思いつつも、どうしたら身に付くかの具体的な方法が分りづらいものです。よく「子どもを誉めればよい」と言われます。もちろん原則的にはその通りですが、毎日生活の中で向き合うわが子にかけられる誉め言葉を探すのも大変なことです。今日から簡単に家庭で実践できて子どもも、声をかける自分も変わるという方法を次にご紹介します。幼児から低学年の子ども向けです。

1、(明るく)「お母さんといっしょにやろうね。」

2、「すごいねえ」、「ありがとう」

3、(こころから穏やかに)「きょうはもういいよ。」

「いっしょにやろうね」はなかなかプリントへの取り掛かりができないときです。つい、声を荒げてしまいそうですが優しく明るく声をかけます。

「ここまでできたね、すごいねえ。」「きょうもがんばってくれているね、ありがとう。」はプリント学習の途中でかける言葉です。字が丁寧でなかったり、ぐずぐずして20分、30分経ったのに2～3枚のプリントしかできていないと思ったとしても、やる気を引き出す声掛けはこの2語が最適です。

怒っても急かしても、プリント学習がスムーズに進むものではありません。疲れたり泣いたりしてできない日もあります。そのときは優しく「きょうはもういいよ。またあしたいっしょにやろうね。」で心を解放します。

さあ、今日から始めてみましょう。

『足に靴を合わせる教育』こそ大切

『やる気』を引き出すことで、『自学自習』ができる子どもたちを育てていくことが公文式教育法の本質であり、また私たち指導者の務めでもあります。そのために大切になってくるのが、一人ひとりに合ったレベルの教材を学習していくことです。公文 公(くもん とおる)先生は「靴に足を合わせるのではなく、足に靴を合わせる教育こそが大切である」と私たち指導者に説かれました。たしかに小さくてサイズのあわない靴を無理やり履こうとしても痛いだけです。大きすぎる靴も歩きにくいですね。子どもたちの学力はもちろんのこと、気持ちや成長に合わせて教材の進め方を変えたり、学習枚数を調整したりする、つまり『足に靴を合わせる』ことで、子どもたちの可能性を十分に引き出すことができます。常に子どもたちの状態、変化をしっかりとつかんで、そのときそのときに合った靴(教材)を選んであげること。そのことがもっとも大切だという、わかりやすい例えだと思います。私たち指導者・スタッフは「この靴は大きすぎないかな」「小さすぎないかな」と、子どもたちの状態をよく見ながら指導に取り組んでまいります。

◇ 夏の特別学習のお知らせ ◇

新しい学年も3か月がたちました。お子さまのご様子はいかがでしょう？

今年も公文式「夏の特別学習」を実施します。

この夏を有意義に過ごし、自分から進んで学ぶ楽しさを味わうためにぜひ、夏の特別学習を利用して、新しい教科にチャレンジしてください。

まだ入会いただいていないご兄弟・姉妹の方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加をお待ちしております。

また、お知り合いの方へ公文式学習をご紹介いただければ幸いです。一緒に学習する仲間は子どもたちにとって大きな励みとなります。

期間：7月21日(金)～8月31日(木)

費用(1教科)：幼児・小学生	6,480円
中学生	7,560円
高校生以上	8,640円

※費用は教材費、消費税を含みます。

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

6月分の会費引き落としは6月28日(水)です。よろしくお願いいたします。

(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。